

秋のお彼岸まいり

令和7年9/20(土)～9/26(金)

古来日本では、《お彼岸》はご先祖さまのみ霊^{たま}をまつる特別な日として大切にされてきました。人はみな、それぞれご両親やご先祖さまなしにこの世に生まれてくることはありません。私たち一人一人が生かされているのは、さかのぼれば際限のないご先祖さまのお蔭なのであります。私たちは、このお彼岸の縁日に、日頃忘れがちにご先祖さまに報恩感謝の誠をささげ、その累代^{たま}のみ霊^{たま}を供養します。また、この日をよき機会として、自らの至らなさを反省し、この世に



—— 位牌堂のご本尊・阿弥陀如来立像 ——

阿弥陀如来のご宝号 南 無 阿 弥 陀 仏
阿弥陀如来のご真言 オン アミリタテイゼイカラウン

み魂まつりの寺

大本山 摩耶山天上寺 女人高野

TEL 078-861-2684 FAX 078-801-2200 ©何なりとお気軽にお問い合わせ下さい
〒657-0105 神戸市灘区摩耶山町2番12 <http://www.mayasan-tenjoji.jp>

おいて正しく生きぬく力と勇気をいただく尊い努力の日なのです。
摩耶山天上寺は、標高七百メートルを越えたまさに天上の寺で、古来ご先祖さまのみ霊^{たま}(祖霊)が集まり安らぐ霊場として広く信仰されてきました。
お彼岸は、み霊^{たま}を偲んでそのご恩に報謝し、供養の誠をささげるのに最もふさわしい一週間です。皆さま、お誘い合わせの上、是非「みたままつりのお寺」にお参りください。

— 今 は 亡 き ご 恩 あ る 方 々 に
報 恩 感 謝 の 祈 り を 捧 げ ま し ょ う —

— 自 分 の 来 し 方 を 振 り 返 り
気 持 ち を 新 た に し ま し ょ う —

— 通 天 門 の 真 ん 中 に 沈 む 夕 日 —

今年のお彼岸

9月20日(土)	彼岸の入り
21日(日)	彼岸の二日・彼岸大師
22日(月)	彼岸の三日
23日(火)	彼岸の中日・秋分の日
24日(水)	彼岸の五日・彼岸地藏
25日(木)	彼岸の六日
26日(金)	彼岸の明け

お彼岸中の六種の修行徳目

— 六波羅蜜 (ろくはらみつ) —

- 布施 — 人や生きものに施しをすること
- 持戒 — ほとけのいましめを守ること
- 忍辱 — 人生の苦しみに堪え忍ぶこと
- 精進 — 真実の道を努力実践すること
- 禪定 — 精神を安定させ迷わないこと
- 智慧 — 真実の智慧に目覚めること

《彼岸》(ひがん)とは、迷いと苦しみのこの岸(此岸・しがん)生死の世界)に対して、生死(しょうじ)の海を越えたかなたの岸(彼岸)のことです。さとりと安らぎの世界のことです。この《お彼岸の日》として、一年に春秋の二季が当てられています。すなわち、春分の日と秋分の日(ともに昼と夜の時間が同じになるお彼岸の中日)と、その後三日の一週間です。この春秋のお彼岸にお寺では《彼岸会》が営まれます。

《彼岸会》(ひがんえ)とは、私たちが日頃の悩み多く、苦しみに縛られた生きざまを反省して、その行ないを正す日です。すなわち、何ものにも束縛されず、何ごとにも惑わされないこころの自由と、有意義で正しい生活習慣とをとりもどすために、精進努力することの意義を改めて自覚する日なのです。今や国民生活にとけこんだ仏道修行の有難い日です。そのために、お寺やお墓にお参りし、僧に読経や法話をたのみ、いろいろな仏事を行なう大切な日となっています。

精霊供養・先祖供養について くわしくはご供所(受付)にお問い合わせください

◆ 一座読経供養 ◆ 経木供養 ◆ 施餓鬼供養・献灯(ローソク)供養

「永代位牌供養」「納骨回向」「年忌供養」「水子供養」なども承っています

(R7.7)